

— 明々庵 — ～松江市景観計画に指定する展望地～

明々庵は、安永8(1779)年、茶人としても名高い松平家七代藩主治郷(不味)公の好みによって、殿町の家老有澤家本邸に建てられた茶室を主とする古庵です。その後数度の移築を経て、昭和41(1966)年に不味公150年祭を記念して北堀町の赤山に移されました。松江城の北、塩見縄手裏手の高台にあり、城見台からは前方に自然豊かな城山の森に浮かぶ松江城、眼下に北堀町の黒瓦屋根が連なる町並みを望むことができます。

不味公によって広められた松江の茶の湯文化。今もその伝統文化を受け継いでいる明々庵で、お抹茶を一服味わいながら、城下町の風情を楽しんでみてはいかがでしょうか。



松江市は、景観計画で市内23ヶ所を展望地に指定し、建築・建設行為等に対して、そこからの眺望に配慮するよう指導・誘導を行っています。

【お問い合わせ】景観政策室 ☎55-5387 FAX:55-5552 E-mail:keikan@city.matsue.lg.jp

松江景観

検索

